

パソコンいわくら教室新聞

フェイスブックやツイッター、インスタグラムやティックトック…様々なSNSが盛んになっていくにつれ、様々な新しい言葉も聞くようになります。

ネットスラングって…

インターネット上のSNSなどで使われる言葉（俗語や隠語）で、改まって使うにはあまりいい言葉ではありません。よく耳にする言葉を並べてみましょう。

●ググる

ネット上で様々な情報をGoogleなどで調べること。ググルで調べる、が略されて「ググる」

●エゴサ

自分のことがどのように書かれているかをネットで調べること。エゴは「Ego」でラテン語で自分という意味。「サ」は「サーチ」で調べること。エゴサーチとも言います。

●ディスる

悪口や侮辱など相手を馬鹿にしたりする言葉。「ディス」は「Disrespect（ディスリスペクト）」の「Dis」。「Respect」は尊敬するので、それに反対を表す「Dis」がついて侮辱や軽蔑の意味になります。

●パリピ

「Party People（パーティーピーポー）」の略でパーティー好きな人、面白い人、また盛り上がっている感じのときなどに使われます。

「私今おっちゃパリピな感じ…」など

●既読スルー

これはわかりやすい言葉です。メッセージなどを読んだ（既読）のに、返事を出さない（スルーする）こと。

●バズる

ネット上である事柄や物が話題になること、流行ることなどを言います。バズは「Buzn」のことで、音になるとか鳴らすとか言う意味です。これでは単語の意味とは合いませんが、マーケティングの用語に「バズマーケティング」という言葉があるようです。これはロコミから売上向上を目指すような意味だそう。このへんが語源のようです。

これは、スラングということではありませんが、

●インスタ映え

インスタグラムに掲載するために、見栄え良く取れた写真、また綺麗な、派手な、見栄えがする被写体のことです。その写真をインスタグラムに乗せればバズルのは間違いなし！です。

●インフルエンサー

SNSの使い手でその方の言動が世間に影響を与えるような人のこと。「Influence（インフルエンス）」は「影響力」などと言った意味です。それに「サー」として影響力を与える人という意味になります。

企業などがこの人を通じて商品のことを良く言ってもらうなどの販促に使われたりします。この記事がバズれば宣伝の影響力大です。

●炎上する

これは言うまでもなく、SNSに書いたその発言などに反感を買い、その記事のコメントに誹謗中傷などを中心にバズってしまうこと。問題発言は避けましょう。文字通り悪いコメントが溢れて収集がつかない様です。

まだまだありそうなネット上で使われている言葉。これからも新しい言葉が生まれてくることでしょう。

ちなみに、今年の流行語大賞でノミネー

トされている言葉は、①イカ

ゲーム②うっせいわ③うま娘

④SDGs⑤NET⑥エペジー

ン…です。30語のノミネートがあ

ります。さて大賞は。こちらも

いような言葉がバズります。



毎年いろ



教室のWebページは左記アドレスから、スマホ・携帯からは、QRコードからどうぞ。新聞バックナンバーもご覧いただけます。

<https://pc-iwakura.com/>

See you next month

